

風景街道サミット in あさま

募集要綱

～心をつなぐ地域づくり浅間・白根・志賀さわやか街道～

1 サミット趣旨

浅間・白根・志賀さわやか街道は、南の玄関口には日本有数の保養地軽井沢、中央には「草津よいとこ一度はおいで」と歌われる名湯草津温泉があり、北の玄関口である志賀高原へと特徴ある観光資源に恵まれたのべ200kmの高原の道です。

この地域には、「浅間のいたずら鬼の押し出し」と称される大噴火を繰り返した浅間山があり、大きな災いをもたらした代わりに独特の景観を生み出し、観光、産業・経済に大きな役割を担うとともに影響を及ぼしています。室町時代には既に志賀と草津の間で湯治の往来があり、江戸時代には草津地域の人々が冬は六合地域（現中之条町）へ移り住んでいました。大正時代では草津町から軽井沢町を繋ぐ草軽電鉄が走っていたなど、古くから広域的に繋がりを、浅間・白根・志賀さわやか街道として官民協働で連携し、まちづくり・観光振興をすすめるのに絶好の歴史を持っています。

「風景街道サミット in あさま」は日本風景街道理念の下、各日本風景街道の関係者が集まり、地域の魅力や郷土への思いを共有し、各街道が情報交換や交流を行うことで、日本風景街道の活動である協働や地域・観光振興をより一層活発化させることを目指します。

2 参加者

日本風景街道に登録している127ルートのパートナーシップ及び関係者
また、日本風景街道への登録を予定または検討している団体関係者

3 プログラム

受付開始 12:30～

① 挨拶 13:00～13:15

①主 催 者：浅間・白根・志賀さわやか街道協議会長 ほか

② 基調講演：テーマと趣旨

10/25(木) 東海大学孺恋高原研修センター 13:20～14:00

演 題『風景・みち・協働』

講師：石田 東生 氏（筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授）

テーマ：協働で展開する観光まちづくりと道路

地域に訪れる人へ好印象を与えると、再度、その地域に訪れる気持ちを起こさせ、観光振興、地域活性化に繋がります。このためには地域の行政、住民、企業等の協働、そして地域間の連携が必要です。この中で道路は、訪れた人が抱く地域の印象に対して重要な役割を担っています。

基調講演では効果的なまちづくりを行うため、日本風景街道の理念である道を舞台に、本サミットの趣旨である協働の方法や観光資源の効果的な活用方法について、講演を行っていただきます。

③ 事例紹介

10/25(木) 東海大学孺恋高原研修センター 14:00～14:40

日本風景街道は、地域住民、NPO、企業、行政等の多様な主体による協働のもと、美しく質の高い風景を形成する運動である。この運動方針のもと活動する全国の取り組み3事例を紹介していただき、情報共有と意識の醸成を図り、一過性で終わることのない息の長い運動を進めていくために活動事例発表を行っていただきます。

① のしろ白神の道

② 風待ち海道

③ 浅間・白根・志賀さわやか街道

④ パネルディスカッション

10/25(木) 東海大学孺恋高原研修センター 14:50~16:15

テーマ：風景街道の観光力を磨こう～発掘・連携・発信の手法～

趣 旨

浅間・白根・志賀さわやか街道では、伝統的な草津温泉や軽井沢避暑地、新たに創られた孺恋の“キャベチュー”、各地の音楽やスポーツのイベントなど、多彩な観光資源があり、人々の交流が図られています。

地域固有の観光資源を「発掘・開発」し、人・地域・食などで結び付けて「協働・連携」し、マスコミや消費者から受け入れられる「情報発信」をすることで、市町村を超えた広域な観光まちづくりが可能と考えられます。

本パネルディスカッションでは、観光資源を活用した広域的な観光まちづくりを成功させるために、どのように協働・連携し、情報発信するか議論していただきます。

コーディネーター 横島 庄治 氏 (NPO 法人環境システム研究会 理事長)

パネリスト 石田 東生 氏 (筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授)

矢口 正子 氏 (「旅の手帖」編集長)

松本 もとみ 氏 (浅間・白根・志賀さわやか街道 地元活動者)

意見交換者 10 風景街道地方協議会代表者

⑤ 交流会

10/25(木) 草津白根観光ホテル櫻井 18:45~20:30



草津白根観光ホテル櫻井

温泉街の中央高台に位置し、静かな環境と四囲の眺望も良く、純和風の落ち着いた本客殿と、全室中庭をあつらえた豊かな風情の、数奇屋造りの新客殿。ホテル櫻井がお届けするのは、真にくつろぐと云うことの贅沢、すべてにゆったりとした館、華やかなおもてなしの数々と、名勝、湯畑、西の河原、露天風呂までの中間地点、徒歩 10 分の散策を楽しんで頂けます。

趣 旨

交流会会場に設置した全国 10 地方協議会の各 PR ブースにおいて、それぞれの協議会における特徴のある風景街道の紹介や活動の参考となる情報について、交流会参加者との意見交換を各代表者の方々と行っていただきます。

- ・各協議会の自己紹介
- ・意見・情報交換 (フリートーク、PR ブース)

当日宿泊案内

交流会のみ参加 7,000 円 夕食会

交流会 + 宿泊 12,000 円 一泊二食 (朝食：和洋バイキング ※お部屋は相部屋になります)

⑥ 現地視察コース 10/26(金)

◆ Aコース

ホテル櫻井 8:20 発	草津町 湯もみ体験 8:30~9:10 	中之条町 重要伝統的建造物群保存地区 10:00~11:00 	長野原草津口駅 11:10 着 高崎行き 11:30 発	長野原町 町営湯問屋 11:55~13:10 	軽井沢駅 14:00 着 東京行き 14:24 発 長野行き 15:16 発
------------------------	--	---	--	---	--

◆ Bコース

ホテル櫻井 9:00 発	嬭恋村 豊妻の丘 10:00~10:30 	嬭恋村 鬼押し出し 11:10~12:20 	軽井沢町 白糸の滝 12:40~13:10 	軽井沢町 三笠ホテル 13:20~13:50 	軽井沢駅 14:00 着 東京行き 14:24 発 長野行き 15:16 発
------------------------	---	--	---	---	--

◆ Cコース

ホテル櫻井 8:30 発	山ノ内町 凌峰ホテル 9:10~9:20 国道最高地点到達 証明書発行説明 	山ノ内町 杓野・凌 IC 9:55~10:00 アダプトシステム説明 	山ノ内町 戸狩子エーゼンベース 10:10~11:00 りんご狩り 	山ノ内町 須賀川そば 11:20~12:00 信州エリア 	山ノ内町 道の駅 12:20~13:00 北信州やまのうち 	長野駅 14:00 着 東京行き 14:26 発
------------------------	--	--	---	---	---	--

※① 交通事情により時間帯が変動する場合がございます。② 各コース共に最後はホテル櫻井へ戻ります。

4 参加料について

参加費用

シンポジウム	参加無料	昼食はシンポジウム会場ですることができます(予約制※キャンセル不可) カレーライス(サラダ・コーヒー付) 800円
交流会	交流会のみ参加 7,000円	夕食会 交流会+宿泊 12,000円 一泊二食(朝食:和洋バイキング ※お部屋は相部屋になります)
視察バスツアー	Aコース、Bコース 1,500円(昼食代、有料施設代) / Cコース 2,000円(りんご狩り代、昼食代)	

※宿泊定員は120名を予定しておりますので定員に達した場合は宿泊をご遠慮いただく事があります。参加料のお支払いは、シンポジウム会場もしくは交流会場の受付で申し受けます。

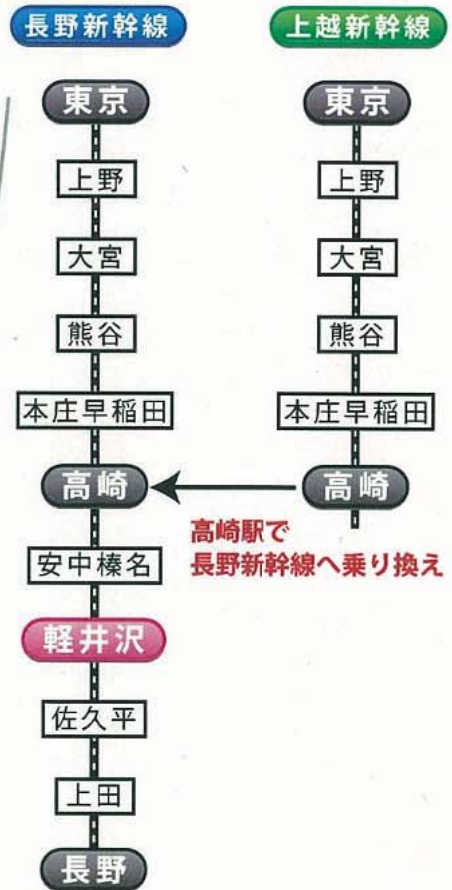
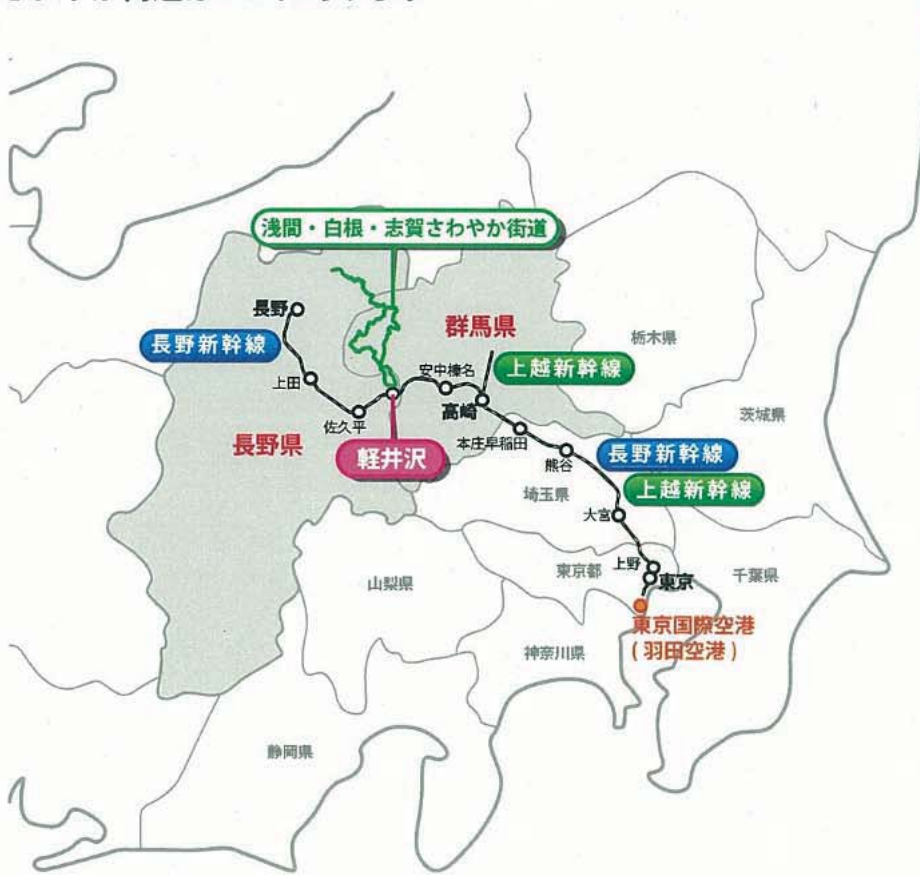
キャンセル規約

宿泊申し込みをされた場合のキャンセルについては以下の通り取り扱います。

- 3日前、2日前にキャンセルした場合は、交流会参加料の30%をお支払いいただきます。
- 当日キャンセルした場合もしくは不泊の場合は、交流会参加料全額をお支払いいただきます。
- 4日前以前は、キャンセル料をいたしません。

5 浅間・白根・志賀さわやか街道について

① さわやか街道はここにります



② さわやか街道を通る各市町村の紹介

嬬恋村

嬬恋村は、群馬県西北部に位置する高原の村で、夏は避暑地として、冬は、ウインタースポーツでにぎわっています。村には、万座温泉・鹿沢温泉・浅間高原・バラギ高原・白根高原の5つのエリアを中心とした観光地があり、夏秋キャベツの生産日本一を誇る村でもあります。現在、嬬恋の名前の由来にちなみ、“愛妻の聖地”として愛妻の丘の整備を行い、「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」(通称キャベチュー)やキャベツマラソンなどのイベントを企画し全国からたくさんの方々をお迎えしております。

草津町

「草津よいとこ一度はおいで」の歌で名高い草津温泉。標高 1,200m の高原に湧き出る温泉は泉質に優れ、自然湧出量は毎分 32,300ℓと日本一。ウインタースポーツはもちろん、春の新緑、夏の爽やかな気候、秋は色とりどりの紅葉と草津には四季の変化を体感できる様々な、楽しみがあります。

長野原町

長野原町は浅間山の北麓に位置する人口7千人弱の小さな町です。中でも標高 1,000 ~ 1,200m の北軽井沢周辺は、キャンプ、トレッキング、スキーなど一年を通してアウトドアを満喫できるリゾートエリアです。またハクサイ、レタスなどの高原野菜の産地であるとともに、酪農業も盛んで県内でも有数の飼養頭数となっております。現在、川原湯温泉周辺では、八ッ場ダム建設事業により住宅街の移転や道路整備などが進められており、まもなく温泉街の移転時期を迎えます。

中之条町

中之条町は、群馬県西北部に位置し、美しい農村景観、温泉資源に恵まれた山紫水明の町です。町内には、四万、沢渡、尻焼など 12 もの温泉が湧出し、古来より偉人が数多く訪れ、旅の疲れを癒してきました。温泉郷の幻想的な雰囲気は、いつの時代も観光客を魅了しています。また、貴重な高山植物の宝庫である野反湖や芳ヶ平などの自然景観、重要伝統的建造物群保存地区の赤岩地区や国指定重要文化財の富沢家住宅などの多くの文化財が残され、先人達の貴重な遺産が息づいています。皆様のご来町を歓迎いたします。

軽井沢町

美しい自然に生まれ、標高 1000m の高原に広がる軽井沢は、明治 21 年に初めての別荘が建てられて以来、国際的保健休養地として、全国有数のリゾート地として発展してきました。浅間山をはじめとする山岳、湖沼や滝などの自然、落ち着いたたたずまいの別荘地、軽井沢に居を構えた作家や画家たちが愛した風景は今も健在。四季折々に姿を変え、私たちが魅了しています。豊かな自然、歴史と文化が融合した「美しい村、軽井沢」へお越しください。

山ノ内町

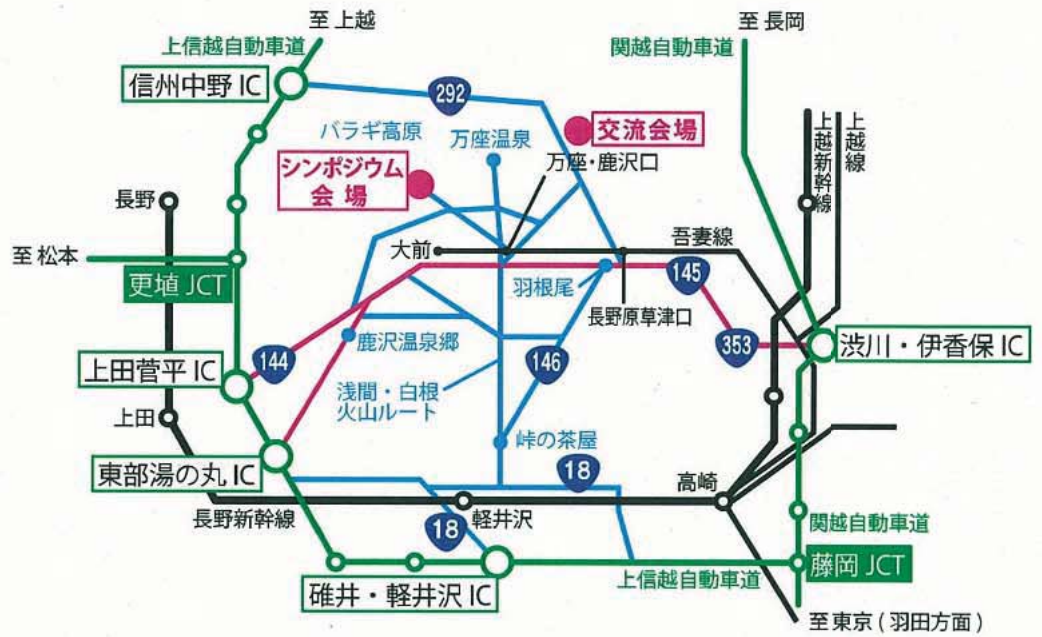
山ノ内町は長野県の北東部に位置する観光と農業の町です。上信越高原国立公園の中心にあり、2000m 級の山々が連なる自然の宝庫「志賀高原」、そして里山風景やそばの里「北志賀高原」は、冬には国内最大級のスキーリゾートとして親しまれています。九つの温泉街が連なるいで湯の里「湯田中渋温泉郷」は、開湯 1,300 年余の歴史と文化に恵まれた湯量豊富な天然温泉です。温泉に入る猿で有名な地獄谷野猿公苑は、スノーモンキーとして外国人にも人気があります。志賀高原の清流と寒暖な気候に恵まれた麓では、「りんご・もも・ぶどう」など甘くて高品質な果樹栽培が盛んです。

6 会場までの交通手段 (自家用車で来場される方)

カーナビ検索される場合は
電話番号又は施設名で検索

シンポジウム会場	
電話番号	0279-96-1211
施設名	東海大学 嬭恋高原研修センター

交流会場	
電話番号	0279-88-1111
施設名	草津白根観光ホテル櫻井



7 会場までの交通手段 (公共交通機関で来場される方)

- シャトルバスが軽井沢駅よりシンポジウム会場(東海大学孺恋高原研修センター)へ向けて運行します。
シャトルバス出発時間：軽井沢駅 10：45 分 出発 シンポジウム会場 11：45 分 着
(北陸新幹線 上り 9：54 軽井沢駅 着)
(北陸新幹線 下り 9：46・10：32 軽井沢駅 着)
※軽井沢駅からシンポジウム会場までの間は公共交通機関がありませんので注意してください。
- シンポジウム会場から交流会場までシャトルバスを運行します。
シャトルバス出発時間は、当日シンポジウム会場でご案内致します。

8 前泊案内

宿泊施設：孺恋プリンスホテル

1泊2食(夕食・朝食)付

8,000円～12,000円 (1室の利用人数によって料金が異なります)

1泊朝食付

4,000円～8,000円 (1室の利用人数によって料金が異なります)

入湯税：150円

交通手段：軽井沢駅までのお出迎えのシャトルバスと翌日の東海大学孺恋高原研修センターまでお送りするシャトルバスがあります。

24日 軽井沢駅 発

① 13：30 ② 17：00

25日 ホテル～東海大学研修センター

ホテル発 11：30

9 申し込み方法

申込用紙に必要事項を記載し、下記申込先へ FAX またはメールで申込書を送付してください。

申 込 先：コーエイ株式会社 E・C 事業部 前橋営業所

■ 住所：〒371-0037 群馬県前橋市上小出町 1-33-2

■ FAX:027-232-5037 ■ e-mail:ec-mb@koei-corp.jp

申し込み用紙は下記アドレスよりダウンロードできます。

<http://www.kirara.ne.jp/sawayaka-kaido/>

10 申し込み締め切り

平成 24 年 8 月 31 日 (金) 必着

11 お問い合わせ先

孺恋村企画財政課

■ TEL:0279-96-1257 ■ FAX:0279-96-0516 ■ e-mail:kikaku@vill.tsumagoi.gunma.jp

12 その他

- ① 交流会場には、各街道を紹介するブースを用意します。
紹介を希望する場合は、資料等(パンフレット等)をサミット 1ヶ月前までに申込先へ送付願います。
申 込 先：コーエイ株式会社 E・C 事業部 前橋営業所
■ 住所：〒371-0037 群馬県前橋市上小出町 1-33-2
■ FAX:027-232-5037 ■ e-mail:ec-mb@koei-corp.jp
- ② 前泊(孺恋プリンスホテル)利用の方につきましては、シンポジウム当日の昼食を前泊場所でお取りいただくか、シンポジウム会場(東海大学孺恋高原研修センター)でお取りください。
シンポジウム会場でお取りいただく場合は、申込書の昼食希望欄に記入してください。
- ③ 当日軽井沢駅からシャトルバスをご利用の場合は、軽井沢駅周辺で昼食をお取りいただくか、東海大学孺恋高原研修センターで参加申込時に昼食の予約をお取りください。
注意：シンポジウム会場周辺には食事できる場所がありません。

